

2019・小学校低学年「スタンリーとちいさな火星人」

お母さんがいないとき、スタンリーは しました。

私はスタンリーのうちゅうせんを見て と思いました。

スタンリーのかわりにかせいじんがやってきて、私は と思いました。

かせいじんは、 など、かってなことやわがママをいいます。

私なら、(注意する / 文句を言う / ケンカになる) と思いました。

お兄さんのウィルやおとうさんはかせいじんを見ても おどろきません / おこりません でした。きっと、
と思いました。

もし私のいもうと / おとうとが、かせいじんになってわがママをいったら、
言う / かんじる / する と思います。

なぜスタンリーはかせいじんにいって、かせいじんといれかわってしまったのか？

私は なのではないかと思いました。 / のような気がしました。 / 私にはちっともわかりません。

もし私のお母さん / お父さんがいない日があったら、私なら
という気持ちになると思います。 / する と思います。

私も(さみしいきもちをかんじた体験)のとき、
(ちがうことをかんがえて / テレビを見て / ゲームをして / マンガをよんで) さみしいことをかんがえないように
した / むりやりたのしいことをしようとした / はやくじかんがすぎてほしいと思った ことがある。

そのとき私はスタンリーと おなじきもち / ちがうほうほうをみつけるのに / すごくにている と思いました。

お母さんがかえってきたとき、スタンリーは
しました。

なぜかせいじんはうちゅうせんにのってスタンリーといれかわったのか？ どうして、スタンリーのままで、
お母さんに「あいたかった」と言わなかったのだろう？ きっと
だ と思います。

もし私がスタンリーの家族なら、
だ と思います。

だから、もし私の家族や友だちがさみしいきもちのときは、
と思いました。